「SDGs積極的」県内企業47.8%

帝国データバンク調査 前回を13・3ポイント上回る

民間調査会社「帝国データバンク水戸支店」は、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」について県内企業に尋ねた意識調査の結果を発表した。半数近くが達成に積極的な姿勢を示し、調査開始以降で最高となった。

調査は6月17～30日、県内に拠点を置く348社を対象に行い、45.7%に当たる159社から有効回答を得た。

その結果、SDGsの「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」（23.3%）と「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」（24.5%）は計47.8%に達し、前回調査（2021年6月）を13.3ポイント上回った。

ただ、大企業の50.0%、中小企業の47.6%がSDGsに前向きだった一方、小規模企業では39.6%にとどまった。消極的だった企業からは「原材料高や人手不足など目先の問題が山積みで、取り組む余裕がない」「経営の安定が最優先」などの意見が寄せられた。

業界別では、小売業が75.0%と、最もSDGsへの意識が高かった。

SDGs達成に向けた取り組みによる効果については、「企業イメージの向上」との回答が44.6%でトップ。「従業員のモチベーションの向上」（35.7%）が続いた。

帝国データバンク水戸支店は「企業は、自らハードルを上げてしまうのではなく、『できることから挑戦してみる』気持ちが必要だろう」としている。（宮尾幹成）

八千代町が友好都市提携

ベトナム・ラックズオン県と 農業、観光など協力へ

八千代町は、ベトナム・ラックズオン県と友好都市提携協定を締結した。農業や観光、文化交流などの分野で幅広く協力していく。同町が海外の自治体と協定を結ぶのは初めて。

町内で二十六日、締結式があり、ベトナム側からはラックズオン県トップのス・タイン・ホアイ人民委員会委員長ら十四人が出席。農業技術に関する情報を交換したり、技能実習生の受け入れで協力したりすることなどを取り決めた。

協定書に署名した野村町長㊨とホアイ委員長＝八千代町で

野村勇町長は「人口の規模が近く、気候が穏やかで暮らしやすい点が似ている。違いを超えて親しくしていけると確信している」と期待。ホアイ委員長は「協定締結は出発点。お互いの住民が行き来するようになれば」と願った。

ラックズオン県は、ベトナム中部ラムドン省の山間部に位置し、人口は約二万五千人。レタスやトマト、コーヒーの栽培が盛ん。八千代町は在住外国人のうちベトナム人が最多で、同国との交流を求める声が強かった。（出来田敬司）

百里基地の昼夜連続訓練

深夜・未明の離陸中止

地元要請で

小美玉市によると、市内の航空自衛隊百里基地が二十七～二十八日に計画していた昼夜連続飛行訓練について、深夜や未明の訓練を控えるよう同市などが求め、午後十時～午前六時は離陸を見合わせることになった。基地は本紙の取材に「飛行についてはコメントできない」としている。

市によると、十九日に基地職員が市役所を訪れ、訓練の実施を通知。島田幸三市長は二十六日、周辺住民への影響が大きい深夜や未明の訓練を控えるとともに、同様の訓練を常態化させないことを基地司令に申し入れた。基地からは「真摯に受け止めます。他方、必要な訓練をしっかりとしなければならないこともご理解願います」などと回答

コロナと生きる @いばらき

947人が感染

県は二十七日、新たに九百四十七人の新型コロナウイルス感染を発表した。感染者の累計は三十八万二千百三十五人。死者の発表はなかった。（保坂千裕）

届け出があった県内の新規感染者数

県北	
日立市	7
常陸太田市	4
高萩市	3
北茨城市	1
常陸大宮市	0
大子町	2
県央	

死者 0人
入院中 212人 うち重症 1人
27日現在 県まとめ

県南	
土浦市	8
石岡市	7

真壁高生のシャインマスカット

マレーシアの食卓へ

生徒らの提案で初輸出

県立真壁高校（桜川市）農業科の生徒が育てた高級ブドウのシャインマスカットが、マレーシアに輸出されることになった。人口減で国内市場が縮小し、農業分野でも海外への販路拡大が求められる中、生徒の提案で実現した。県によると、県内の農業高校や高校農業科から農産物を海外に出荷するのは初めて。来週中には現地の店頭に並ぶ。（長崎高大）

農産物輸出に関する一連のプロセスを生徒に体験してもらうのが狙い。出荷作業は二十六日、同校の稲荷原農場で行われた。大きさごとに分けたシャインマスカットを一～三年生七人が梱包。計約八十房が東京都中央卸売市場を経由して空輸される。マレーシアでの販売価格は一房四千円前後になる見込みだ。

同校は県内の教育機関で唯一、世界基準の農業認証「グローバルGAP（ギャップ）」を取得している。食品の安全性や労働環境、環境保全に配慮していることを認証する制度で、農作物を輸出する場合に求められることもある。

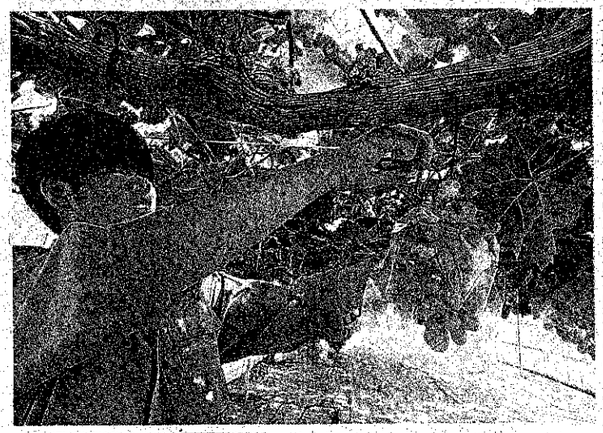
認証取得には、与えた水や肥料の量を記録したり、農作物に異物が混ざらないように掲示物を設置したりすることなどが必要。同校は二〇一九年十一月にブドウで、今年三月にイチゴで取得した。年に一回、更新の審査がある。

世界基準の認証を生かした輸出を提案したのは、認証取得に取り組んできた校内のチームに所属する三年生の杉江伯空さん。今年八月、杉江さんらが県庁に森作宜民県教育長を訪ねてブドウやイチゴの認証取得を報告すると、実現に向けて話が進み、県農産物輸出促進チームが輸出先の調整などに当たってきた。

杉江さんは「日本産の農産物は今後、海外に販路を広げていかないといけない。グローバルGAPを続けてきた積み重ねで、輸出まで実現できてよかった」と笑顔を見せた。

シャインマスカットの輸出は今回限り。次回は、冬にイチゴを台湾に輸出する計画があるという。

生徒の指導を担当する小野力教諭は「人口が減って日本全体の消費が減る中、もうかる農業をするためには人口が増加しているところに売っていかないといけない。輸出の流れを勉強して、生徒たちが海外に目を向けるきっかけになるといい」と話した。



㊤シャインマスカットを収穫する生徒＝2019年10月（真壁高校提供）㊦出荷されるシャインマスカットを梱包する生徒＝いずれも桜川市で

2022 大子来人 ～タイゴライト～
袋田の滝ライトアップ
光のトンネル
2022年10月1日(土)～11月27日(日)まで
大子町観光協会
☎0295(72)0285
https://www.daigo-kanko.jp

県内の天気

	きょう	あす
日立		
水戸		
土浦		

きょうの予想（水戸）
降水確率
朝0% 昼0% 晩0%
気温
最高20度 最低7度
北西日中南東の風

水戸支局
〒310－0011
水戸市三の丸1－4－73
水戸京成ビル4F
電話 029-221-7128
FAX 029-221-8271
mail:mito@tokyo-np.co.jp
つくば通信部
〒305－0032
つくば市竹園1－8－2
ミオカステーロ
つくば竹園515
電話 029-859-1618
FAX 029-859-1619

ローカル Local いばらき